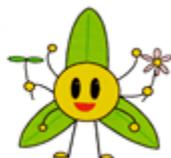


平成28年11月11日



柿の木

花と緑と思いやりひとみ輝く二小の子

▽思いやりのある子ども

▽進んで学ぶ子ども

▽力いっぱい活動する子ども

<http://www.edu.city.koriyama.fukushima.jp/asaka2-e/>

文責 齋藤 和代

結果志向・学び志向

今週は、持久走大会が実施され、走りきることにより、子どもたちは自分自身への挑戦をして、ここからも多くのことを学んでいます。

「学び」にも種類があります。福島大学の宮先生は、「結果志向」と「学び志向」という分類をされることがあります。例えば、「どの問題を解いても良いよ」と言っていくつかの問題を並べておいて、自分より下の学年の問題など簡単な問題ばかりを選んで正解をしている場合は、必ずできるという結果を求めて決めているので、このような立ち向かい方を「結果志向」と言います。

これに対して、「学び志向」の場合は、困難や不確かなことに挑戦すること自体が面白いこと、価値あることと考え、難しい問題にもチャレンジしたがります。人間は、一段高いハードルに挑戦してこそ、様々な事を学んでいきます。「学び志向」の子は、知らず知らずに「学びと成長」に向けて行動しようとするアクティブな気持ちが育っていくのです。どちらも時と場合で、両面を持っていると思います。しかし、困難や新しいことに直面した時、「結果」と「チャレンジ」のどちらを優先するかが、大切なポイントとなります。

子どもたちにとって、「それが全て」と言っているほど、「大人の対応」が重大です。「できる・できない」を大人が常に評価すると、そこに問題があります。立つ場所はどこも同じなのに、「学ぶ」ということに、差が開いていくということです。

「学ぶ意欲」とは、「困難に立ち向かおうとする意志」です。目に見える「できた・できない」に心が奪われると、目に見えない「意欲の育ち」という重要な「成果」は得られません。

こんな研究があります。1960年代のアメリカで、質の良い教育についての研究が盛んに行われました。早くから知識をたくさん身に付ければ子どもの能力はどんどん伸びるだろうという仮説のもと、幼児を3つのコースに分けて研究しました。

【コース1】授業中心の保育で、知的能力を高めるための指導を行う。

【コース2】自然に言葉や数字に興味を持つように、環境を設定し、自然環境や友だちとの交流を重視した。

【コース3】自由遊び中心で、遊びに熱中できる環境作りをした。

小学校入学以降、最初のうちは「コース1」の子どもたちは優秀でした。しかし、学年が進むと、知的な発達の差は全く消失しました。(つづく)

それだけではありません。15才の時点になると、「コース1」出身者の人間関係の良好さを示す項目の大半で低い数値となってしまったそうです。反社会的行動すら見られるようになったそうです。

なぜこのような予想外の結果になってしまったのか、次のように分析されました。

- 知識ばかりを与えることが重視された結果、子どもたちは大人からの指示ばかり受けることになった。その結果、指示待ちの子どもになったのではないか。
- 「子ども同士の関わり」「人間関係の構築」の持つ意味に保育者の注意が向けられなかった。
- 子どもの自主性の発揮が「いたずら」や「失敗」として扱われた。
- 自発的な能力の発揮について罪悪感すら持ってしまった。
- 知識の詰め込みにより、意欲や好奇心が育たなかった。



つまり、子どもの行動の善し悪しを「結果 (=できばえ)」の善し悪しで判断し、子どもを評価する大人の存在があったために、結果志向の子どもになってしまったのではないかということです。

幼児教育中心の話になってしまいましたが、小学校になったから急に幼児でなくなるというものではありません。この頃、教育界ではアクティブラーニングということがよく言われます。本校でも「学び志向」の子どもを目指していきたいと思えます。

看板を設置していただきました

毎朝、コスモス通りで交通指導を
していただいている良田さんが、
「通学路徐行」と「不審者警戒中」
の看板を設置してくださいました。

子どもが巻き込まれる悲しい事件
が多いこの頃、有り難いことです。
子どもたちにも繰り返し注意をして
いきたいと思えます。



週の予定

月 日	曜日	行 事	1年	2年	3年	4年	5年	6年
11月14日	月	○B日程 教育相談	5	5	5	5	5	5
15日	火	○B日程 教育相談	5	5	5	5	5	5
16日	水	○B日程 教育相談	5	5	5	5	5	5
17日	木	○B日程 教育相談 ○スクールカウンセラーさん来校	5	5	5	5	5	5
18日	金	○B日程 教育相談	4	5	5	5	5	5
19日	土	○吉田富三子ども科学賞授賞式 4年生児童, 5年生児童	・	・	・	・	・	・
20日	日		・	・	・	・	・	・